

現代社会学科特別講義

2018年

8/4 土



左の写真は、現在の吉祥寺 LOFT 付近にあった喫茶店「古城」(写真提供: 吉祥寺今昔写真館)。右の写真は同じ場所に現在建っている「古城ビル」。ビルの屋上に昔の建物を彷彿とさせる尖塔がある。

吉祥寺で学ぶ／吉祥寺を学ぶ ～プロジェクト型授業「コミュニティ演習」の挑戦～

時間 11:40～12:40 場所 9号館 102 教室

伊藤 昌亮 (成蹊大学文学部教授)
渡邊 大輔 (成蹊大学文学部准教授)
見城 武秀 (成蹊大学文学部教授)

「コミュニティ演習」は吉祥寺で知られる武蔵野市をフィールドとするプロジェクト型授業です。学生たちは地域が抱える具体的な課題について、地域に暮らす人びとと実際に触れ合いながら考え、成果を地域に向けて発信します。2015年にはじまったこの授業の4年間の軌跡を振り返り、現代社会学科の学びの特徴と魅力をお伝えします。

英米文学
レクチャーズ

イギリス文学と精神分析、あるいはトラウマと戦争

時間 13:00～14:00 場所 9号館 102 教室

遠藤 不比人 (成蹊大学文学部教授)

第一次世界大戦後一気に問題化した「トラウマ」は、人間が言葉で表現できない体験をした結果の「心の癒えない傷」として、戦後イギリスの文学と精神分析を「語りえないもの」を語る言語と化し、人間と言語の関係についてこれまでにない省察をもたらしました。ふたたび戦争の世紀となる気配が濃厚な 21 世紀に生きる私たちにとって無縁ではない世界がそこにあります。



2018年 8/5 日

人文叢書レクチャー

チョコレートの秘密、コーヒーの秘密

時間 11:40～12:25 場所 9号館 102 教室

小林 盾 (成蹊大学文学部教授)
竹内 敬子 (成蹊大学文学部教授)
佐々木 紳 (成蹊大学文学部准教授)

「人文叢書」とは、文学部の教育・研究成果を発信するために毎年刊行される本のシリーズです。今回は最新刊から、高校生の皆さんにも身近な話題を紹介します。コーヒーはどこで生まれ、世界中に広がったのでしょうか。チョコレートは「飲む」ものだったのが、なぜ現在のように「食べる」ものになったのでしょうか。



英米文学
レクチャーズ

アメリカ文学研究をトランスアメリカにひろく

時間 13:00～14:00 場所 9号館 102 教室

庄司 宏子 (成蹊大学文学部教授)

文学は、国民や国家の自画像を人為的につくりだす面があります。アメリカ文学では植民地時代の出来事で忘れ去られていたものが、18 世紀末の建国以降に復活することもあります。文学史はそのような忘却と回収の結果の産物ですが、回収されない歴史の痕跡をどのように辿り、創造的に回復してゆくのか、国境を越えて繋がる国や人々の生み出した文学作品から考察します。